

スコアシート		基本設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
<b>Q 建築物の環境品質</b>									<b>2.6</b>
<b>Q1 室内環境</b>					<b>0.40</b>		-		<b>3.2</b>
<b>1 音環境</b>				<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	1.00		<b>3.0</b>
1.1 室内騒音レベル		-		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.40		
1.2 遮音		-		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.40		
1 開口部遮音性能		-		3.0	0.40	3.0	0.30		
2 界壁遮音性能		-		3.0	0.60	3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-		-	-	3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-		-	-	3.0	0.20		
1.3 吸音		-		<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	0.20		
<b>2 温熱環境</b>				<b>3.0</b>	0.35	<b>3.0</b>	1.00		<b>3.0</b>
2.1 室温制御		-		<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50		
1 室温		-		3.0	0.38	3.0	0.57		
2 外皮性能		-		3.0	0.25	3.0	0.43		
3 ゾーン別制御性		-		3.0	0.38	-	-		
2.2 湿度制御		-		<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	0.20		
2.3 空調方式		-		3.0	0.30	3.0	0.30		
<b>3 光・視環境</b>				<b>3.0</b>	0.25	<b>3.3</b>	1.00		<b>3.1</b>
3.1 屋光利用		-		<b>3.0</b>	0.30	<b>4.2</b>	0.30		
1 屋光率		屋光率 共有部1.95 専有部2.4		3.0	0.60	5.0	0.60		
2 方位別開口		-		-	-	-	-		
3 屋光利用設備		-		3.0	0.40	3.0	0.40		
3.2 グレア対策		-		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.30		
1 屋光制御		-		3.0	1.00	3.0	1.00		
3.3 照度		-		<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	0.15		
3.4 照明制御		-		<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	0.25		
<b>4 空気環境</b>				<b>3.5</b>	0.25	<b>3.7</b>	1.00		<b>3.6</b>
4.1 発生源対策		-		<b>4.0</b>	0.50	<b>4.0</b>	0.63		
1 化学汚染物質		内装材はほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用		4.0	1.00	4.0	1.00		
4.2 換気		-		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.3</b>	0.38		
1 換気量		-		3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能		1/15以上の有効開口面積		-	-	4.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮		-		3.0	0.50	3.0	0.33		
4.3 運用管理		-		<b>3.0</b>	0.20	-	-		
1 CO <sub>2</sub> の監視		-		-	-	-	-		
2 喫煙の制御		-		3.0	1.00	-	-		
<b>Q2 サービス性能</b>				-	0.30	-	-		<b>2.9</b>
<b>1 機能性</b>				<b>2.4</b>	0.40	<b>3.8</b>	1.00		<b>3.1</b>
1.1 機能性・使いやすさ		-		<b>3.0</b>	0.40	<b>5.0</b>	0.60		
1 広さ・収納性		個室16.2㎡/床		-	-	5.0	1.00		
2 高度情報通信設備対応		-		-	-	-	-		
3 バリアフリー計画		-		3.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性		-		<b>1.0</b>	0.30	<b>2.0</b>	0.40		
1 広さ感・景観		-		-	-	3.0	0.50		
2 リフレッシュスペース		-		-	-	-	-		
3 内装計画		-		1.0	1.00	1.0	0.50		
1.3 維持管理		-		<b>3.0</b>	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		-		3.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保		-		3.0	0.50	-	-		
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>3.0</b>	0.30	-	-		<b>3.0</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振		-		<b>3.0</b>	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		-		3.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能		-		3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数		-		<b>3.4</b>	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数		-		3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		-		2.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		床:塩ビシート20年、壁:ビニルクロス20年 天井:ビニルクロス30年		5.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		-		3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要な用途上位3種の、2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用		5.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔		-		3.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性		-		<b>2.8</b>	0.20	-	-		
1 空調・換気設備		-		3.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備		-		3.0	0.20	-	-		
3 電気設備		-		3.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法		-		3.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備		-		2.0	0.20	-	-		

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>2.9</b>	0.30	<b>2.2</b>	1.00	<b>2.5</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>2.8</b>	0.30	<b>1.4</b>	0.50	
1 階高のゆとり		—	2.0	0.60	1.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ		壁長さ比 共有部0.10 専有部0.54	4.0	0.40	2.0	0.40	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>		—	<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.50	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.0</b>	0.40		-	
1 空調配管の更新性		—	3.0	0.20		-	
2 給排水管の更新性		—	3.0	0.20		-	
3 電気配線の更新性		—	3.0	0.10		-	
4 通信配線の更新性		—	3.0	0.10		-	
5 設備機器の更新性		—	3.0	0.20		-	
6 バックアップスペースの確保		—	3.0	0.20		-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			—	0.30	-	-	<b>1.7</b>
1 生物環境の保全と創出		—	1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		—	2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		—	2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		—	2.0	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>				-	-	-	<b>3.5</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			—	0.40	-	-	<b>4.1</b>
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI=0.73	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用		—	3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEI=0.73	4.4	0.50	-	-	4.4
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング		—	3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制		—	3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング		—	-	-	-	-	
4.2 運用管理体制		—	-	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			—	0.30	-	-	<b>3.1</b>
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		自動水栓に加え、節水型便器を採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無		—	3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無		—	3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.1	0.60	-	-	3.1
2.1 材料使用量の削減		—	2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		—	3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		—	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		—	3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		—	3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体と仕上げが容易に分別可能	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用		—	3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1 消火剤		—	-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		—	3.0	0.50	-	-	
3 冷媒		—	3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			—	0.30	-	-	<b>3.3</b>
1 地球温暖化への配慮		LCCO排出率78%	3.8	0.33	-	-	3.8
2 地域環境への配慮			2.8	0.33	-	-	2.8
2.1 大気汚染防止		—	3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		—	3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.5	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減		—	3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制		—	3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制		—	3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		—	1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音		—	3.0	0.50	-	-	
2 振動		—	3.0	0.50	-	-	
3 悪臭		—	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制		—	3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制		—	-	-	-	-	
3 日照障害の抑制		—	3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		広告物照明を行っていない	5.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		—	3.0	0.30	-	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
<b>Q2 サービス性能</b>															
1.2.3 内装計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	5.0		○	○	-	-	○	○	-	-	-	○	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	4.0		-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-
2.4.1 空調・換気設備	-		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	2.0	2.0	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	2.0	1.0	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	1.0		-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>															
1 生物資源の保全と創出	2.0		-	-	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	1.0		-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	1.0		-	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	2.0		-	1.0	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>LR1 エネルギー</b>															
2 自然エネルギー利用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	1.0		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>LR3 敷地外環境</b>															
2.2 温熱環境悪化の改善	6.0		1.0	-	1.0	3.0	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	2.0		1.0	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	4.0		2.0	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標	
<b>Q1 室内環境</b>	
2.1.3 外皮性能	窓システムSC - 窓の日射熱取得率(η) - U値(W/m2K) 窓システム - 屋根 - 外壁 - 床 - 住戸部分 窓システムU値 - 外皮UA値 - η AC - η AH -
3.1.1 昼光率	昼光率 0.0%
4.2.2 自然換気性能	自然換気有効開口面積率 0.0%
<b>Q2 サービス性能</b>	
1.1.1 広さ・収納性	執務スペース 0.0㎡/人 病床 0.0㎡/床 シングル 0.0㎡ ツイン 0.0㎡
1.1.2 高度情報通信設備対応	コンセント容量 0.0 VA/㎡
1.2.1 広さ感・景観	天井高 2.4m m
1.2.2 リフレッシュスペース	リフレッシュスペース - レストスペース -
2.2.1 躯体材料の耐用年数	想定耐用年数 - 年
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	想定必要間隔 - 年
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	想定必要間隔 0 年
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔	想定必要間隔 - 年
3.1.1 階高のゆとり	階高 0 m
3.1.2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率 10.0%
3.2 荷重のゆとり	床荷重 - N/m2
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>	
1 生物資源の保全と創出	外構緑化指数 26% 建物緑化指数 0%
3.2 敷地内温熱環境の向上	空地率 46% 水平投影面積率 1% 地表面対策面積率 12% 舗装面積率 34%
<b>LR1 エネルギー</b>	
1 建物外皮の熱負荷抑制	BPI/BPI <sub>m</sub> 0.73 断熱等性能等級 対象外 相当
2 自然エネルギー利用	自然エネルギー直接利用量 0 MJ/年㎡ 採光を満たす教室数 0.0% 採光を満たす住戸数 0.0% 通風を満たす教室数 0.0% 通風を満たす住戸数 0.0%
3 設備システムの高効率化	BPI/BPI <sub>m</sub> 非住宅 0.73 住宅 - 太陽光 - 太陽熱等 - 蓄電池 -
<b>LR2 資源・マテリアル</b>	
1.2.1 雨水利用システム導入の有無	雨水利用率 -
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	特定調達品目 長尺塩ビシート(サエコマーク商品) - 自治体指定の特定品目等 -
2.5 持続可能な森林から産出された木材	使用比率 -
3.2.1 消火剤	オゾン層破壊係数(ODP) - 地球温暖化係数(GWP) -
3.2.2 発泡剤(断熱材等)	オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)
3.2.3 冷媒	オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP) -
<b>LR3 敷地外環境</b>	
2.2 温熱環境悪化の改善	見付面積比 78% 隣棟間隔指標Rw 0.66 地表面対策面積率 0.0% 屋根面対策面積率 0.0% 外壁面対策面積率 0.0% 見付面積Sb 498㎡ 卓越風向と直交する最大敷地幅Ws 51.01 m 基準高さHb 9.97 m 緑地 165㎡ 水面 ㎡ 保水性対策面 ㎡ 高反射対策面 ㎡ 再帰性反射対策面 ㎡